

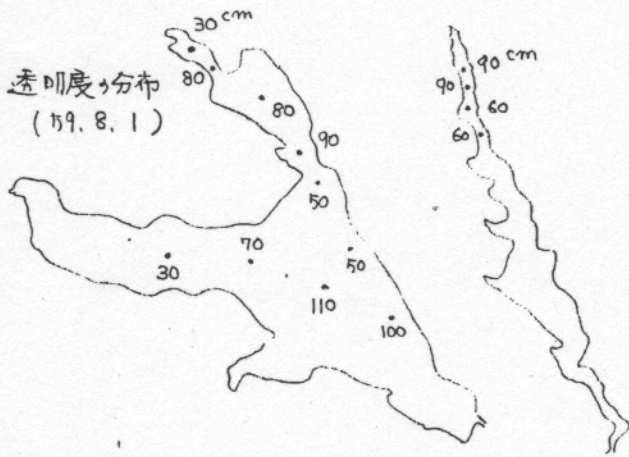
かわら版

56号

アオコ

増殖中

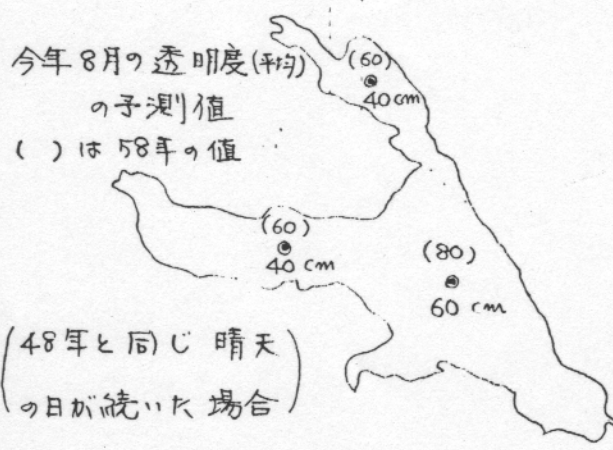
梅雨明け後、好天が続いているため、アオコが急速に増殖しています。



図は八月一日の透明度の状況を示したものです。霞ヶ浦は、土浦入りと高浜入りがアオコの量が大変多くなっており、一方、北浦では、霞ヶ浦ほどではないようです。酸素量の方はどうかといいますが、今迄の所まがままの状態といえます。この水は毎日継続して風が吹いており、無風の時間が少なかったことが大きな原因ではないかと考えています。

これからどうなるか？

八月に入り、細いけす養殖もいよいよ大変な時期になってきました。



酸欠の程度は、アオコの量に関係があります。全く無いのも、また、多すぎて困ります。このアオコは、夏の天候と密接な関係にあります。気象台の発表では、八月は暑い日が多いということです。暑がり晴天の日が多いとみてよいでしょう。このような天候は、アオコにとっては最適です。

図は八月の透明度を予測したものです。が、気象台の予報が適中すれば、アオコの量は大変多くなると思います。アオコがある量、透明度で約四センチメートル以上になりますと枯れ始めます。最近黄色化したアオコが表面に浮いているのが目立ってきました。枯れるアオコの量が増え、風の状態によれば、酸欠になりやすくなります。酸欠の一番大きな原因は、無風状態の継続です。夜間、風のなくなる事が多いですが、このような状態が、長時間無風状態が続きますと、直ぐ酸欠になります。コイの給餌は、これらの事を考えて行って下さい。

